

「学校規模の適正化に関する基本方針」への提言

平成24年12月

豊橋市教育課題検討会議

◆◇◆ 目 次 ◆◇◆

1 はじめに	1
2 豊橋市立小中学校の現状と今後の推移	2
(1) 児童・生徒数及び学級数の推移	2
(2) 学校規模の推移	5
(3) 学級編制基準の状況	5
(4) 学校施設の状況	6
(5) 教育活動面における過小規模校・過大規模校の対応	7
3 学校規模による学習環境の違い	8
(1) 大規模化に伴う主な特徴	8
(2) 小規模化に伴う主な特徴	8
4 学校規模の適正化に向けた取組み	9
(1) 豊橋市立小・中学校通学区域審議会の経過	9
(2) 通学区域の弾力的な運用	9
(3) 特定地域隣接校選択制度	10
(4) 特認校制度	13
(5) 他都市における過大規模校対策	16
(6) 他都市における過小規模校対策	17
5 適正な学校規模	18
(1) 関係する法令等	18
(2) 適正規模を定める上での基本的な考え方	18
(3) 小学校と中学校との関係	19
(4) 適正な学校規模	20
(5) 学校規模の適正化の検討が必要となるケース	20
6 学校規模の適正化に向けて	21
(1) 学校規模の適正化を図る手法	21
(2) 手法を用いる際の優先順位	22
(3) 適正化の手順	23
(4) 適正化を図る際の留意事項	25
(5) 適正化の検討が必要となる小中学校	26
7 おわりに	27

附属資料